

一小児専門病院における低出生体重児の人工肛門閉鎖術の周術期管理
および治療成績の報告と今後の課題

1. 研究の目的

低出生体重児の人工肛門閉鎖術は創部感染や腸閉塞、縫合不全などの周術期合併症が比較的起こりやすい術式として知られています。そこで本研究では当院の周術期管理および治療成績の現状を調査し、今後の解決すべき課題を検討します。

2. 研究の方法

対象：2013年1月から2019年12月の間に当院で人工肛門閉鎖術を行った方のうち、低出生体重児（出生時体重が2500g以下）を対象とし、過去の診療録の記載から調査します。

3. 情報の公表

研究結果は日本周産期・新生児医学会の学会誌という学術雑誌に投稿し、論文として公開される予定です。患者様の個人情報公表されることはありません。

4. 研究実施機関およびお問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

群馬県立小児医療センター 小児外科 則内友博

住所：〒377377 -8577 8577 群馬県渋川市北橋町下箱田 779 779 番地

電話：02790279 -52 -3551